



初任科第 88 期 不屈の精神～挑戦あるのみ～

静岡県消防学校 初任科だより vol. 1

◆ 全ては基本から始まる ◆

10月2日、消防学校初任科第88期の入校式が実施され、県内8消防本部から39名の学生が緊張した面持ちで静岡県消防学校の門をくぐりました。ここに集まった学生は各々半年間現場で様々な経験を積み、安全、確実、迅速に活動できるよう先輩方から沢山のことを教わってきました。実際に火災の現場に出動した学生もいます。

しかし、まだまだ消防士としては未熟であるため、この半年間でしっかり**基礎・基本**を学び、一人ひとりが考え、行動できるような消防士になることを目指します。また、一生の仲間となるこの同期と、辛いときは励まし合い、切磋琢磨し、互いに成長ができるように日々の訓練、座学に全力を尽くします。

そして、この39人が1人も欠けることなく修了へ向けて、1日1日を大切に過ごしていきます。



入校式で宣誓する学生（左）と校長（右）

◆ 第一回野外訓練 ◆

10月31日に第一回野外訓練が行われ、消防学校から浜石岳山頂（標高707m）までの往復約30kmの道りを20kg近い荷物を背負いながら歩きました。

入校から約1か月が経ち、初めての大きな行事に、私たちは不安と少しの高揚感を抱いていました。第一回野外訓練における全体のスローガン「上を向いて歩こう」のもと、一步一步前へ進みました。途中、慣れない急坂や、険しい山道、かかどが鋼鉄のように硬い編み上げ靴、靴擦れなどに苦戦しながらも、「七転八起」の精神を忘れず、総代【駿東・川口柊】、副総代【静岡・杉本賢祐】を中心に、周りを励まし鼓舞しあいながら歩きました。その結果、1人も脱落することなく無事、完歩することができました。



山道を進む初任科生

この先の消防学校の生活でも、このような困難はたくさんあると思います。しかし、その困難も39人の力があれば乗り越えることが可能だと、この野外訓練を通して実感しました。この先5か月間、仲間意識を強く持ち、全員で乗り越えていきたいと思っています。

発行日：平成29年11月24日 発行元：静岡県消防学校
制作：静岡県消防学校初任科第88期文化委員会
磐田消防 磯貝駿 熱海消防 相崎龍弥